

# みどり ひと



みどりの新聞 平成17年2月15日 発行 No.130



## 早春は「黄色い花」 と共にやってくる...

木々の大枝・小枝に触れながら吹きぬける「ヒュー、ヒュー」「ガサ、ガサ」北風の音は、樹木たちが奏でるオーケストラ。耳を傾けると哀愁のあるメロディーに聞こえてきませんか？眼を下にやると野草や草花たちは枯れはて、地表は霜柱で浮き上がり、地中では植物の種子や虫の幼虫たちが冬眠し、「早く来い、来い！春よ来い！」と気温の緩む時をじっと待っているようです。

三寒四温を肌で感じるようになると、年輪を一つ増やした木々は「新芽」や「蕾み」を膨らませ：野草・草花は土の緩む啓蟄にタイミングをあわせて：今や遅しと春風を待っています。

早春は、芳香のロウバイや、地中から顔を出したフクジュソウなど、黄色の花が開花すると、これを境に、ウメ、コブシ、モクレン、ネコヤナギなどが咲きほこり、森や林、公園、街路樹、住宅街などの木々は萌葱色の新芽でおおわれます。地中から、野草・草花や虫たちも元氣な春の演出に一役かって、緑と花に包まれた「春」をむかえるのです。

「みどりのボランティア杉並」も発足して4年目に、個人活動や各グループに分かれ、それぞれがテーマをもって、みどりの保護・育成に多大な貢献をしています。区民参加の「環境博覧会すぎなみ」にも恒例行事として参加しています。

みどり豊かな自然環境は自分たちの手で守るものです。皆さんも「みどりのボランティア杉並」に参加してみませんか。

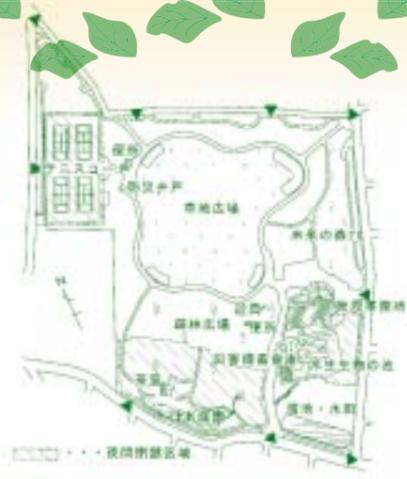
### みどりのボランティア杉並 の主な活動グループ

生き物救済クラブ	(仮称)子どもと大人と自然遊び村	善福寺川さくらの会	みんなでみどりの会(仮称)
植木応援団	私樹木をまもる会	ピオトープABC	桃園川を愛でる会
植木応援団・小枝のフレディー	自然観察の会	ピオトープネットワーク	わくわく畑の会

問合せ：杉並区都市整備部公園緑地課みどりの計画係 電話 3312 - 2111 まで



竹林のこみち



柏の宮公園  
平面図

## 身近に親しめる自然と文化

かし みや

# 柏の宮公園

昨年オープンした「柏の宮公園」は、区立公園としては最大規模です。ちょっと園内を散策してみましょう。

南側の疎林広場は武蔵野の面影を残し、中央は草地広場、周辺には桜や松、ケヤキの大木、加えて下草や苔をはじめとする地被植物が庭のたたずまいをもたらし、茶室と周辺の竹林など、四季の変化を楽しめる公園です。特に日本庭園と茶室は新設ではなく、若狭小浜藩主で江戸幕府の幕閣にあった酒井忠勝の下屋敷（新宿区矢来町）にあった茶室を、昭和34年（1959年）日本興業銀行が現在地に移築復元し、「林丘亭」と名づけたとされています。

茶室の伝承としては、酒井忠勝が茶人大名の小堀遠州と深い関係があったことから、遠州の指揮で、公儀御庭師山本道勾が下屋敷の池畔に庭園と茶室を造営し（当時「岸の茶室」と呼ぶ）、

寛永21年（1644年）5月に完成した数奇屋に將軍家光らを招いて茶を献じたとあります。さらに江戸中期・末期に増改築をした記録もあるようです。

現在の日本庭園は、安全のため、池の周辺にチョットと無粋なフェンスがありますが、池中央の石橋は実用と景観の両面で水と立体的に関係して、庭の水景に貢献しています。また、立派な灯籠・蹲・石橋・飛石・組石や、ツツジなどの低木などが配置され、心休まる憩いの空間が構成されています。近くに水生生物の池、溜池、水田など、多目的に利用される公園ならではの施設もあり、自然と親しめる総合施設として、区民の皆さんに大いに利用してほしいものです。



管理事務所から見た草地広場



武蔵野の面影を残す疎林広場



北側の松の大木



茶室（林丘亭）の落ちついたたたずまい



杉並区立柏の宮公園

管理事務所 ☎ 3329-5686  
所在地 浜田山 2-5-1



交通：井の頭線浜田山駅下車徒歩7分  
南北バスすぎ丸さくら路線（浜田山～下高井戸路線）  
柏の宮公園入口バス停下車徒歩5分  
駐車場はありません

## 緑の歳時記

### ムクロジ

〔無患子〕ムクロジ科



偶数羽状複葉

本州（茨木・新潟以西）、四国、九州、沖縄の山地に生え、高さ10～15メートルにもなる落葉高木です。

各地の人家や公園、寺院、神社に植えられます。樹皮はなめらかで、やや黄味を帯びた褐色です。葉は偶数羽状複葉で互生し、小葉は4～8対あり、長さ7～15センチメートルの狭長楕円形で、革質は少し硬い感じです。花は6月頃、枝先に穂になって淡黄緑色の小花をたくさんつけます。同じ花穂の中に雄花と雌花がまじっています。果実は直径約2センチメートルの球形で、秋に黄褐色に熟し、中に黒くてかたい種子が1個はいつています。和名は同科のモクゲンジの漢名「木欒子」が誤用されて、「木欒子」の日本語読み「モクロシ」から「ムクロジ」になったといわれています。また、無患子は、昔、神巫がこの木でつくった棒で鬼を追い払い、患いを無くすと伝えられたからといわれています。種子は羽根つきの球にしたり数珠にします。また食用にもなります。果皮は延命皮と呼ばれ、サポニンを含み昔は石鹸の代りに使われました。誤用とはいえ、「子が患わない（病気をしない）」という意味で縁起が良い木だと思いませんか。杉並区内では、善福寺公園上池、井草緑道、宮前公園などで観察することができます。

## みどり探訪

杉並のみどりとそれに関わる方々をご紹介します。

### 新しいまちの緑

高井戸の駅近辺を散歩していて、小さな緑のオアシスを発見しました。高さ10メートルを超えるケヤキ並木のあるマンションの庭先で、入口には歩行者が自由に歩行または利用できる公開空地であるという看板が出ています。とはいえ、マンションの私有地なので恐る恐る魅力的な園路に足を踏み入ると、サクラの大木、その間を埋めるのはツバキ、キンモクセイ、モクレンの若木で、それらの樹木の足元はアイビーなどのグランドカバーで覆いつくされています。園路に導かれるまま建物を一周すると、緑青色のすがすがしいヒマラヤスギの並木を経て、葉を落として美しい



樹形を見せているケヤキ並木に戻ります。ケヤキ、サクラ、ヒマラヤスギはこの新しい建物よりずっと以前からここにあったのでしょうか。既存樹を活かし、新しい緑を加え、完成された緑のオアシスはこの建物に住む人ばかりでなく多くの人の財産です。今まで守り続けられてきた屋敷林などの緑は、残念ながら減少し続けているのが現実です。一方、最近はこのように、緑を大切に作るマンションに人気があるようです。屋敷林など古くからの緑を大切にするとともに、新しく住まいを購入する人々が緑を重んじた選択をすれば、古くからあった緑も守られ、新しい緑も生み出されるのではないかと思います。これからのみどり探訪では、従来から守り育てているところに加えて、新しい緑や緑のオアシス・個人住宅も訪れて行こうと思います。

# 専門家に関し 園芸ワンポイント

緑に関する専門相談は  
塚山公園みどりの相談所  
くさばな  
☎3302-9387  
(毎週土・日曜日)

## 梅の花後の管理

ふくいくとした香りと春の訪れを感じさせてくれた梅の花ももう終わります。又来年素晴らしい花を楽しむためにこの時期の作業をしましょう。

### 枝の剪定

花がらを取り去ります。花の咲いたあとの青い枝の芽を、枝元から2～3芽残して、外側の芽の上から3mm程度残して剪定します。

また、樹形を壊す様な徒長枝や、内側へ伸びた枝、枯れた枝も取り除きましょう。

(植え替えは1～2年に一回行うと、花付きもよく、生育が良い)

### 肥料

植え替え後直ぐには与えず、新芽が出てきた頃にリン酸、カリ分の多いものを合わせて施してください

### 水やり

水やりは、3月の終わり頃までは2～3日に一度でよいです。4月頃からは、一日に1回表土が乾いたら与えます。その折によく観察して病虫害を発見したら早めに手当てする事が大事です。

### 鉢物の場合

### 植え替え

鉢から抜き、根鉢を割り箸や竹べら等でよくほぐし、剪定バサミで根を三分の一ぐらい切りつめます。

鉢底へ、ごろ土、次に赤玉土6と腐葉土4位に混ぜた土を入れながら、根によく土が入るように植えます。最後に表面に赤玉土を軽く均し灌水します。

指導：塚山公園みどりの相談所 澤地 家治 先生

ご存知ですか？

## 杉並区 みどりの基金

### 杉並区みどりの基金とは

この基金は、平成14年10月1日にできました。区内の緑化推進を願う区民や事業者の皆様からの寄附金を原資としています。

### 寄附金の使われ方

皆様からいただいた貴重な寄附金は、区内の地域緑化に直接役立てたり、緑化活動をする人たちを応援するために使います。

基金の趣旨にご賛同いただける方のご協力をお願いします。ご協力いただける方、詳しくお知りになりたい方、また、ご不明な点がありましたら、公園緑地課みどりの計画係までお問合せください。

## 平成16年度宝くじ助成金で 花壇づくりに取り組んでいる公園

花壇づくりは、「花咲かせ隊」の皆さんが行っています。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 大宮前公園(宮前3-15-10)     | 松庵公園(松庵1-14-22)      |
| 妙正寺公園(清水3-21-21)     | わかたけ公園(本天沼3-39-7)    |
| くっかけ公園(清水3-7-18)     | 切り通し公園(上井草4-3-10)    |
| 善福寺美樹園公園(善福寺4-3-29)  | 高井戸藤が丘公園(高井戸東3-9-34) |
| 関根文化公園(上荻4-2-10)     | 西田仲よし広場緑地(荻窪1-17-1)  |
| 井草さくら公園(井草1-17-16)   | 浜田山一丁目公園(浜田山1-25-24) |
| 永福中央公園(永福2-1-12)     | 藤和緑地(下高井戸4-39-22)    |
| おぎ緑地(西荻北1-12-11)     | 済美公園(堀ノ内1-27-40)     |
| 柿木北公園(上井草1-33-3)     | 井荻公園(西荻北4-38-17)     |
| 住吉公園(井草3-15-5)       | 西荻南児童公園(西荻南3-4-5)    |
| 今川一丁目公園(今川1-19-8)    | 大宮前児童遊園(西荻南1-6-19)   |
| 西荻窪平和児童遊園(西荻南3-18-9) | 八成公園(井草2-27-8)       |
| 下高井戸公園(下高井戸2-27-5)   | 西荻わかば公園(西荻北2-9-17)   |

花咲かせ隊は、身近な公園で花壇をつくり、花の植付けや手入れをしている区内在住の方5名以上のグループの集まりです。現在、72カ所で84グループ、約600人のボランティアの方が活躍しています。

問合せ：杉並区都市整備部公園緑地課公園事業係 電話 3312-2111

## <編集後記> 「みどりとひと」は「みどりのボランティア杉並」と協働で編集をしています。

- ♣123号から編集に参加していますが、「今号はよく書けた！」と満足できる原稿はなかなか書けないものですね... (木)
- ♣北風に乗って草木の種が飛散し、新しい生命の誕生を待っている季節ですが、一方、スギ花粉に悩まされる季節、今から備えておきましょう。(青)
- ♣本紙が区民に届く頃に適した内容を考えるのは極めて難しい、また「みどりの」維持管理の難しさも常に話題になる。(芦)
- ♣今年秋から冬にかけてたいへん暖かく、ポケヤスマレ、ツツジ、アジサイのもどり花(返り咲き)が多く見られました。冬の花はやっぱり季節らしい風情で咲いているヤツデ、ピワ、ヒイラギが好ましく思われます。(山)
- ♣今年初めて小規模に腐葉土を作っています。はてさて良い物が出来るやら。(淳)
- ♣編集に参加して二度目の新聞発行を迎えました。編集会議から発行日までに時間のずれがあり、季節感のある写真を載せるのに苦労しますが、常にタイムリーな対応が出来るよう努力をしている先輩に感服しています。(松)

みどりの新聞 130号 平成17年2月15日発行

【編集】みどりのボランティア杉並  
【編集・発行】杉並区都市整備部公園緑地課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111  
「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

R100

PRINTED WITH SOY INK

この印刷物は、大豆インクを使用しています。また、古紙配合率100%再生紙を使用しています。